

## ボイラーの場合

### 届出概要

届出対象	ボイラーを有する事業場 (熱源として電気若しくは廃熱のみを使用するもの並びに日本産業規格 B8201 及び B8203 伝熱面積の項で定めるところにより算定した伝熱面積が 5 m <sup>2</sup> 未満のもの (いおう化合物の含有率が体積比で 0.1%以下であるガスを燃料として専焼させるものについては伝熱面積が 10 m <sup>2</sup> 未満のもの) を除く。)
届出者	ボイラーを設置する方
届出期限	設置工事の 30 日前まで
届出先	渋谷区役所環境整備課公害指導係 本庁舎 12 階
届出部数	正・副 2 部

### 届出書類

- 1 指定作業場設置・変更届出書 (第 16 号様式)
- 2 別紙 9
- 3 配置図
- 4 平面図 (ボイラーが設置されている機械室等の記載のあるもの)
- 5 都知事が発行した大気汚染防止法の受理書の写し、又はメーカー保証書の写し (窒素酸化物、NO<sub>x</sub>の確認のため)
- 6 ボイラーカタログ
- 7 機械室の求積図 (指定作業場面積の確認のため)
- 8 製品納入仕様書の写し

### 記入例

次ページをご参照ください。

## 記入例

指定作業場 設置  
変更届出書

令和〇年 〇月 〇日

渋谷区長 殿

指定作業場を設置する事業者（代表者）

住所	東京都渋谷区宇田川町〇番〇号
氏名 (個人または法人名)	株式会社〇〇 〇〇
(代表者名)	代表取締役〇〇 〇〇

(法人にあっては、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 ~~第90条~~ 第89条 の規定により、関係書類を添えて、次のとおり届け出ます。

既設置番号等	設置番号・年月日	第 号 年 月 日			
	変更事由	1 指定作業場の種類	2 作業の方法	3 建物・施設の構造又は配置	4 ばい煙等の防止の方法
指定作業場の名称	(仮称) 渋谷区〇〇〇計画				
指定作業場の所在地	東京都渋谷区渋谷〇丁目〇番〇号				
指定作業場の種類	ボイラー	病院にあっては病床数	床		
地域等	用途地域	水域			
	商業地域	下水道			
自動車の出入口が接する道路の幅員	m	50メートル以内の学校・図書館・病院・診療所・保育所・特別養護老人ホーム・幼保連携型認定こども園の所在位置	△別紙( )のとおり		
作業時間	8時から 18時まで( 10 時間)				
工事着工予定	令和〇年 〇月 〇日	工事完成予定	令和元年 〇月 〇日		
従業員数 (常用雇用者数)	10人 ( 8 人)	廃止予定	年 月 日		
連絡先	所属 株式会社 〇〇産業 氏名 〇〇 〇〇 電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 ファクシミリ番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 電子メールアドレス				
※受付欄					

- 備考
- ※の欄には、記入しないこと。
  - △印の欄には、届出書に添付する各別紙に一連番号を付けた上、該当する別紙の番号を記入すること。
  - 変更届として使用するときには、「指定作業場の名称」及び「指定作業場の所在地」以外の欄には、変更のある欄のみ記入すること（添付する別紙についても同じ。）。
  - 「指定作業場の種類」の欄には、条例別表第2に掲げる指定作業場のうち該当するものを記入すること。
  - 「用途地域」の欄には都市計画法第8条第1項第1号に規定する用途地域を、「水域」の欄には条例別表第7-4の部の付表の水域細区分の欄に掲げる水域を記入すること。
  - 「診療所」は、患者を入院させるための施設を有するものに限る。

敷地・建物の状況	建物・施設の配置	△別紙（ ）のとおりに				
	敷地面積 (㎡)	○○○○㎡				
	作業場の棟別構造・面積	棟の名称	(仮称) 渋谷区○○○計画			
		用途	住宅 駐車場			
		階数	地上○階 地下○階			
		構造	鉄筋コンクリート造			
		建築面積 (㎡)	○○○○㎡			
作業場面積 (㎡)	○○○○㎡					
主たる施設の能力等	種類	ボイラー				
	公称能力	伝熱面積 15㎡				
	動力 (kW)	1.5kw				
	台数	1				
	別紙番号					
	構造・使用の方法	△別紙（ ）のとおりに				
	事業場で取り扱う有害ガス又は有害物質	なし				
	作業の方法	ボイラーは給湯と暖房に使用。冷温水発生器は冷暖房に使用。				
	公害防止の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料は都市ガスを使用。</li> <li>・低NOx仕様な機種を導入する。</li> <li>・設置場所は地下の機械室で、煙突は地上高さ10mとする。</li> <li>・煙道の途中に排ガス測定口を設置し、定期的(年に2回)にばい煙測定を実施する。</li> </ul>				

- 備考 1 「建物・施設の配置」の欄及び「構造・使用の方法」の欄の別紙は、施行規則別記第16号様式の別紙のうち、該当する様式を使用すること。
- 2 「事業場で取り扱う有害ガス又は有害物質」の欄には、条例別表第3の各号に掲げる物質又は別表第4の各号に掲げる物質のうち事業場で取り扱っているものを記入すること。

暖房用熱風炉、**ボイラー**、~~ガスタービン、ディーゼル機関、~~  
~~ガス機関、ガソリン機関又は焼却炉を有する事業場~~

施設番号						
種類・名称・型式		ボイラー				
設置年月日		〇年〇月〇日				
着手予定年月日		〇年〇月〇日				
使用開始(予定)年月日		〇年〇月〇日				
構造						
規模	伝熱面積又は火床面積(m <sup>2</sup> )	15m <sup>2</sup>				
	燃料の燃焼能力(□/h、mN/h)	100				
	焼却能力(kg/h)					
使用状況	1日の使用時間・ 1月の使用日数	8時～18時 25日/月	時～時 日/月	時～時 日/月	時～時 日/月	
	季節変動	冬季のみ				
燃料	種類	都市ガス13A				
	灰分・いおう分(%)	0.0%・0.0%				
材料	1日の使用量	500m <sup>3</sup> N/日				
	廃棄物の種類・量(t/日)					
ばい煙の処理の方法		希薄燃焼				
総排出物の量(m <sup>3</sup> N/h) ・温度(°C)		550m <sup>3</sup> N/h 65°C				
総排出物中の酸素濃度(%)		5%				
ばい煙の濃度	ばいじんの濃度(g/m <sup>3</sup> N)	処理前				
		処理後(効率:%)		0.0g/m <sup>3</sup> N		
	いおう酸化物の濃度(容量比ppm)	処理前				
		処理後(効率:%)		0.0ppm		
	窒素酸化物の濃度(容量比ppm)	最大	処理前			
			処理後(効率%)		45ppm	
通常		処理前				
		処理後(効率%)		30ppm		
煙突・排気塔	高さ(m)	10m				
	頂口径(m)	φ0.5m				
	排出速度(m/s)	0.3m/s				
参考事項						
敷地内建物又は室内施設の配置図 別紙〇のとおり						

- 備考 1 指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。  
 2 「灰分・いおう分(%)」の欄の記入に当たっては、重量比又は容量比の別を明らかにすること。  
 3 「ばい煙濃度」は、乾きガス中の濃度とする。